

令和 2 年度

# 事業報告書

社会福祉法人 紀和会



## 【はじめに】

社会福祉法人紀和会の福祉サービスをご利用になられている皆様方、ご家族の皆様方ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。令和2年度の事業概況についてご報告申し上げます。

### ☆年度実績および全般状況

令和2年度の実績ですが、特別養護老人ホームの介護保険事業収入につきましては、前年対比が103.2%で、昨年度と比べ約8,700,000円の増額となっております。身体障害者支援施設の障害者福祉サービス事業収入につきましては、前年対比が98.1%で昨年度より約2,500,000円の減額となっており、紀和会全体の収入は、前年対比が101.4%で約5,600,000円の増額となりました。

部門別では、特別養護老人ホームにつきましては、入院延べ日数が約700日と入院された利用者が前年度よりも若干多かったものの、入退所者が少なかったため、空床期間が少なくなり長期利用の平均利用者数が47.8名、稼働率が95.8%となり収入の増額になりました。

また短期入所につきましては、長期利用者の空床を有効に利用して稼働率の確保ができ、平均利用者数が19.4名、年間稼働率97.4%、前年対比で99.5%と昨年度と同水準を維持できました。人件費につきましては前年対比105.3%、事務費支出においては前年対比115.7%、事業費支出においては前年対比105.3%となっております。

身体障害者支援施設につきましては、年間平均利用者数が19.8名、年間稼働率が99.2%という数字となり、年間稼働率は前年対比で100.3%となっております。

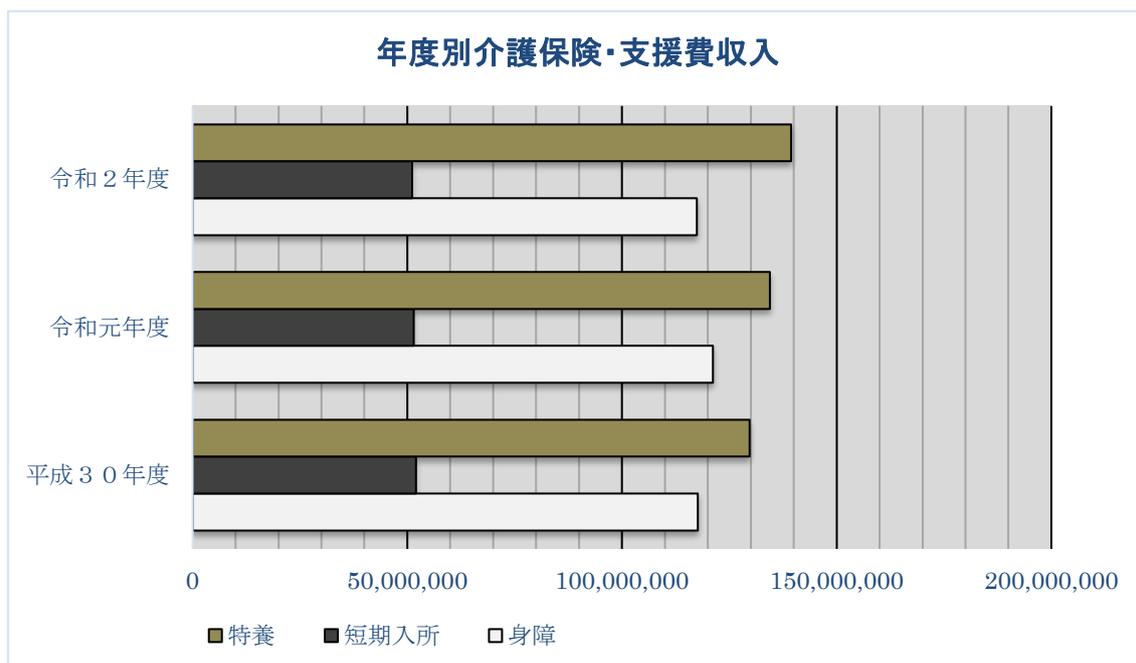
また、短期入所におきましては、月に20日以上利用されていた方が11月から介護保険サービスへ移行されたことや、生活支援員退職後の補充が出来なかったため新規の受け入れも難しく、年間稼働率44.0%、年間平均利用者数が0.88名となり、前年対比で57.9%と低い数字になりました。人件費については前年対比98.9%、事務費支出においては前年対比107.1%、事業費支出においては101.5%となっております。

特別養護老人ホーム、身体障害者支援施設共に事務費支出が、大きく増額となった要因としましては、疥癬発症に伴い職員への予防投薬に係る費用や、屋上機械台廻り他の防水工事等、突発的な費用が発生したことによるものです。特養と身障を合わせた人件費構成比率は71.6%という数字になりました。

## ☆【部門概況】

### ☆年度別介護保険・支援費請求収入一覧

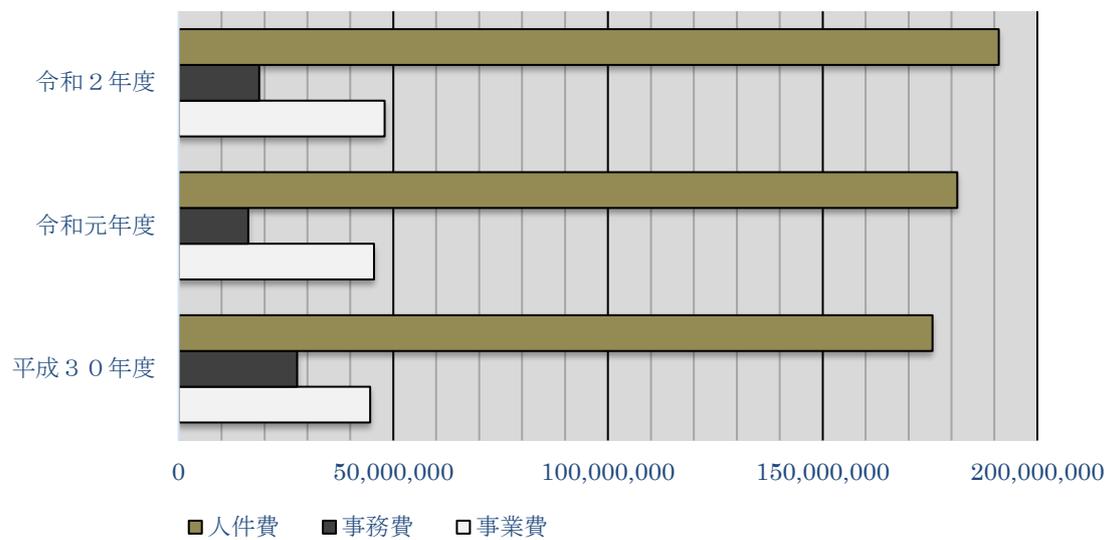
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年対比
特 養	129,721,061	134,443,115	139,410,918	103.6%
短期入所	52,009,065	51,494,566	51,132,339	99.2%
身 障	117,690,630	121,147,394	117,429,267	96.9%



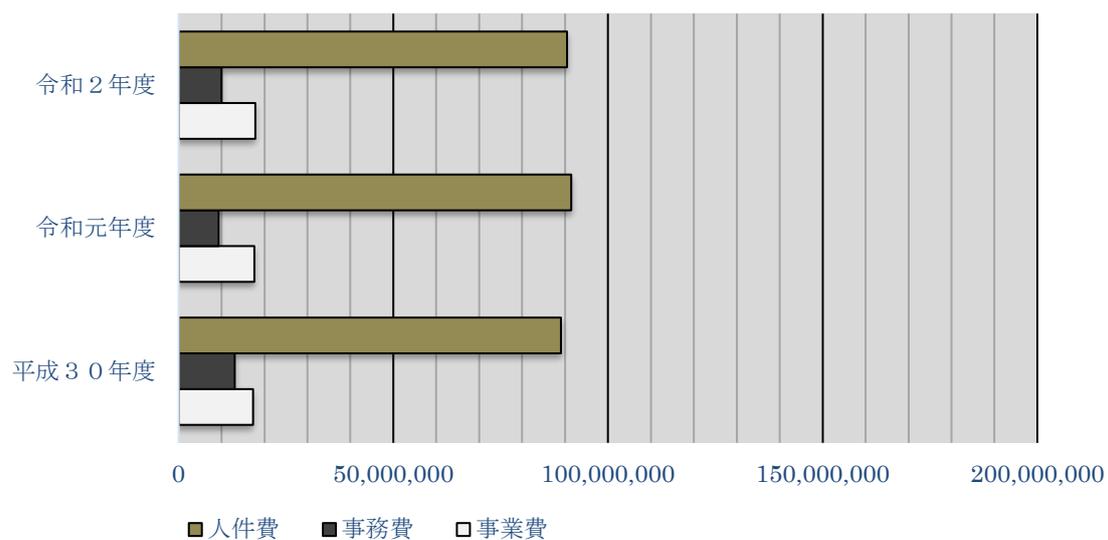
### ☆人件費等の割合

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年対比
特 養	人件費	175,587,613	181,332,419	191,028,512	105.3%
	事務費	27,604,698	16,227,534	18,778,451	115.7%
	事業費	44,612,245	45,511,412	47,956,589	105.3%
身 障	人件費	89,006,685	91,424,468	90,484,206	98.9%
	事務費	13,064,375	9,316,075	9,981,932	107.1%
	事業費	17,365,797	17,620,984	17,890,727	101.5%

## 特別養護老人ホーム



## 身体障害者支援施設



## 【入所者の概要】

令和3年3月31日現在

### ・特別養護老人ホーム

#### ☆人数・平均年齢

年齢区分	男 性	女 性	計
～ 69	0	1	1
70 ～ 74	0	0	0
75 ～ 79	0	1	1
80 ～ 84	2	5	7
85 ～ 89	1	15	16
90 ～	2	22	24
計	5	44	49
平均年齢(歳)	87.8	90.2	90.0

#### ☆入所者介護度分布

介 護 度	男 性	女 性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	1	1	2
要介護3	2	18	20
要介護4	1	17	18
要介護5	1	8	9
計	5	44	49
平均要介護度	3.40	3.72	3.69

#### ☆入退所状況

R2.4.1～R3.3.31

	男 性	女 性	合 計
入 所	0	4	4
退 所	3	3	6

#### ☆退所内訳

	男 性	女 性	合 計
病院入院	2	3	5
入院病院等にて永眠	1	0	1
在宅復帰	0	0	0
合 計	3	3	6

## ☆短期入所利用状況

	30年度	元年度	2年度	月別平均	前年対比
4月	535	600	603	20.10	100.5%
5月	596	611	614	19.80	100.4%
6月	529	590	625	20.83	105.9%
7月	636	597	605	19.51	101.3%
8月	610	629	598	19.29	95.0%
9月	574	557	576	19.20	103.4%
10月	625	515	586	18.90	113.7%
11月	626	598	556	18.53	92.9%
12月	622	625	594	19.16	95.0%
1月	602	635	566	18.25	89.1%
2月	600	573	569	20.32	99.3%
3月	628	615	620	20.00	100.8%
月平均	19.67	19.52	19.48	19.48	99.5%
利用日数	7183	7145	7112		
年間稼働率	98.4%	97.6%	97.4%		

・身体障害者支援施設

令和3年3月31日現在

☆ 人数・平均年齢

年齢区分	男 性	女 性	計
～ 29	0	0	0
30 ～ 34	0	0	0
35 ～ 39	0	0	0
40 ～ 44	1	0	1
45 ～ 49	0	2	2
50 ～ 54	3	0	3
55 ～ 59	2	0	2
60 ～	6	6	12
計	12	8	20
平均年齢(歳)	60.4	63.1	61.5

☆入所者支援区分分布

支 援 費	男 性	女 性	計
区分3	0	1	1
区分4	3	0	3
区分5	2	0	2
区分6	7	7	14
計	12	8	20
平均支援費区分	5.33	5.62	5.45

☆入退所状況

R2.4.1～R3.3.31

	男 性	女 性	合 計
入 所	1	0	1
退 所	0	1	1

☆退所内訳

	男 性	女 性	合 計
病院入院	0	1	1
入院病院等にて永眠	0	0	0
他施設入所	0	0	0
合 計	0	1	1

## 【行事報告】

### ・特別養護老人ホーム

令和2年

5月20日 <遠足> 参加者66名

天気にも恵まれ、裏庭にて昼食を摂りました。かき氷、綿菓子コーナー等を設け、職員による催し物も披露し楽しんでいただきました。

7月7日 <七夕> 参加者64名

ご利用者それぞれのお願い事を書いて、願いを込めながら飾り付けを行い、出来上がった笹飾りと記念撮影も行いました。

8月14日 <スイカ割り大会> 参加者70名

コロナ禍の影響で夏祭りが中止となる中、夏の季節感を味わっていただくためにデイルームでスイカ割り大会を行いました。甘くて美味しく、沢山おかわりされる方もみえました。

9月16日 <敬老会> 参加者70名

一日利用者と一緒に過ごすことを目標として、厨房職員の特製お祝い膳で敬老の日をお祝いしました。職員のソーラン節の披露や、ボール送り、玉入れ、宝釣り等のアトラクションも行い、笑顔の絶えない敬老会になりました。

10月7日 <焼き芋大会> 参加者63名

裏庭にて焼き芋を行い、おやつの時間に皆さんに召し上がっていただきました。館内に漂う甘くて香ばしい焼き芋の香りや、ホクホクした食感を楽しんでいただきました。

12月16日 <忘年会> 参加者69名

海鮮丼を初めとする豪華な昼食、デザートを職員と一緒に召し上がっていただきました。職員による二人羽織りは、大変盛り上がり、1年を振り返る動画も見て頂きました。お菓子のプレゼントもあり心温まる忘年会となりました。

12月28日 <餅つき大会> 参加者69名

ご利用者、職員と一緒に餅つきを行い、正月が近づいたという雰囲気を感じていただきました。

令和3年

2月 3日 <節分豆まき> 参加者66名

職員が鬼に扮装し、ダイルームにてご利用者と職員とで「鬼は外、福は内」の掛け声のもと豆まきを楽しんでいただきました。

## ・身体障害者支援施設

令和2年

5月29日 <バーベキュー> 参加者19名

焼き肉・焼きそば等を近くで調理するため出来立ての料理は毎年大好評です。この日は天気も良く、和やかな風も吹き、皆さんに楽しんでいただきました。

7月 7日 <七夕> 参加者20名

この日のためにご利用者がお願い事を書き、飾り付けすることで、それぞれの願いが詰まっている素晴らしい笹飾りが出来ました。食べたい物や、欲しい物、新型コロナウイルスが無くなって欲しい等、色々なお願い事がありました。

10月8日 <おやつパーティー> 参加者21名

甘い物には目がないご利用者たち。パンケーキに生クリームやフルーツのトッピングをしたり、羊羹、レアチーズケーキ、ババロア、プリン・・・素敵な笑顔が広がっていました。

10月19日 <運動会> 参加者21名

今年はコロナ過の為、簡素化したプログラムになりましたが、元気にハツラツ徒競走、豪華景品付きフィッシングゲームに、みんな大好きなパン食い競争を職員と一緒に楽しみました。

12月21日 <忘年会> 参加者20名

新鮮な魚の海鮮丼、豪華なオードブルは今年も大好評でした。カラオケ、今年1年を振り返るスライドショーでは大盛り上がり。デザートケーキでお腹も心もいっぱいになりました。

12月28日 <餅つき大会> 参加者21名

ご利用者が叩く太鼓の音に合わせて、ご利用者と職員と一緒に becoming お餅をつき、つきたてのお餅を食べて楽しみました。

令和3年

1月 3日 <お茶会> 参加者20名

職員が手作りした正月飾りの前で記念撮影の後、抹茶や昆布茶を点てて和菓子と共に召し上がっていただきました。

2月 2日 <豆まき大会> 参加者20名

食堂にて、利用者と職員で豆まきを行いました。職員が鬼の衣装を身につけ、利用者は豆をまいたり、歳の数だけ豆を食べたりと楽しんでいただきました。

※利用者の誕生日月にハッピーデーとして、行きたい場所へ職員と一日かけて出掛ける外出支援については見送りました。

## 【クラブ活動】

### ・特別養護老人ホーム

定期的に食堂にて生花クラブとカラオケレクを行っています。

行事に合わせて行われる生花クラブでは、季節ごとの花を生け、出来上がった作品は、敬老会や忘年会等のテーブルに飾りました。

カラオケ好きな方は十八番をリクエストして自慢の喉を披露されています。

### ・身体障害者支援施設

利用者の希望するクラブに入ってもらい、毎月クラブ活動を実施しています。また、クラブ活動を行うことにより利用者間の親睦を深めていただきました。

・オセロ部

・コーラス部

・手芸部

・写真部

・創作部

・パソコン部

・美術部

## 【会 議】

施設の機能と職員の連携を有効に活用し、いかに合理的に施設運営と利用者処遇を両立させることができるか、意見交換と連携を行い各職種間、職員間並びに職員と利用者間の理解、信頼、協調を深めたより良い施設作りを推進し、利用者の人権が守られた快適な生活を確保する為、次の会議を実施しました。

- 部署会議

各部署責任者で構成し、施設全体の動向を把握し、改善事項や業務の連絡調整等について話し合いを実施しました。また、収支状況を報告し、施設の経営に関する方向性を共有しました。

- 主任会議

主任クラスの役職員で構成し、利用者に対するサービスの質の向上のために処遇の改善や業務内容等の問題点を検討し、他の会議から挙げられた議題についての検討を実施しました。

- リーダー会議

業務における指示の徹底・改善事項等について話し合い、またチーム会議で挙げられた問題等について検討を実施しました。業務改善を検討し、問題解決に努め、利用者のサービス向上に繋げました。

- チーム会議

各職員が、ケアプランのモニタリングや利用者の処遇に関する問題点等について検討し、利用者の介護に反映されるように話し合い、また、会議の中で出された検討・改善事項についてはワーカー会議等への議題提起を行いました。

- サービス担当者会議（特養）

各部署のサービス担当者によるケアプランのモニタリングの結果や利用者の処遇に対する問題点について話し合い、ケアプランの見直し、改善を行いました。

- サービス担当者会議（身障）

利用者へのサービス内容を評価し、利用者にもっとも適したサービスが提供できる様に定期的開催しました。

- ・ ワーカー会議（特養・身障）  
 各職員が、いろいろな意見を出し合い、業務・利用者処遇についての問題点について検討を行いました。また、業務における指示等を再度検討し周知徹底を行いました。
- ・ 給食会議  
 食生活に潤いと変化を持たせ、喜んでもらえる食事が提供できるように、検食簿の意見や、残食状況等について各部署責任者で検討を行いました。
- ・ 入所者判定会議（特養・身障）  
 入所決定に係る「入所判定会議」を開催し、入所順位名簿を整備するとともに、入所希望者の入所決定を行うため実施しました。
- ・ 事務所会議  
 事務所としての課題や問題点について提起し、課題等に対する対応策や評価を行い、情報共有に努めました。
- ・ 医務室会議  
 利用者に対する健康管理・処置方法の検討及び看護職員が少ない中、業務を円滑に行うにはどのようにすればよいのか検討を行いました。
- ・ 利用者会議（身障）  
 利用者からの希望・意見を聞き、利用者の希望・意見を尊重した支援ができるように話し合いを行いました。

## 【給 食】

給食はおいしく、楽しくということの基本として、利用者個人の状態に応じた食事を提供し、なおかつ、食べていただくことにより、必要な栄養量を確保し、体調を維持していただくなくてはなりません。そのため、嗜好調査・日々の残菜調査の結果を献立に組み込み、また毎月給食会議を開催し、検食簿や意見交換によって食べやすい食事作りに努めると共に、食事形態の工夫をするなど、嗜好や毎日の健康状態の差に対応できるように努めました。平成31年2月からは、自前での食事提供となりましたが、ご利用者に食事を楽しんでいただくため、食事の質を落とすことなく提供し、衛生管理の徹底に努めています。また、特別養護老人ホームでは5月に花見、9月に敬老会、12月には忘年会を実施し、特別食を楽しんでもらいました。

身体障害者支援施設では5月に施設のベランダでバーベキュー、12月に忘年会を開催しておいしい昼食を召し上がっていただき、年末には餅つき大会を実施し、つきたてのお餅をおやつに食べていただきました。また、食堂が2階にある身体障害者支援施設では、毎食、温冷配膳車に入れて提供することで、大変喜んでいただいています。

令和2年度 実施給与栄養量		
	特別養護老人ホーム 入 所 者	身体障害者支援施設 入 所 者
エネルギー	1405kcal	1581kcal
たん白質	52.7g	60.9g
脂肪	37.4g	40.9g
カルシウム	563mg	583mg
鉄	6.4mg	6.9mg
ビタミンC	260mg	259mg
食物繊維	14.4g	14.5g
食塩	7.5g	7.6g

※ 入所者の食事形態状況

主食は常飯、軟飯、粥、半ペースト、ペースト粥、ゼリー粥、パン食とし、副食については常菜、細刻み食、細の超刻み食、超刻み食、半ペースト食、ペースト食があります。嚥下状態のよくない利用者には、ソフト食を提供しています。

## 【検討委員会】

- 身体拘束廃止検討委員会

身体拘束の適正化に関する指針に基づき、利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解するための研修を行いました。また、身体拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束廃止検討委員会が中心となり、身体拘束をしないケアの実施に努めました。

- ヒヤリハット検討委員会

検討委員会で傾向と対策をまとめ、職員へ周知徹底することで、骨折等の事故を未然に防ぐよう努めておりますが、認知症の方の徘徊等による事故・ヒヤリハットが増えているのも現実で、より安全で安心できる環境を提供できるよう、事故報告書・ヒヤリハット報告書を基にして、ハード・ソフト面での防止や改善策を検討し、様々な取り組みを実施し

ました。また骨折等の事故については、関係機関に報告を行うなどの迅速な対応を行いました。

- 感染症対策検討委員会

- 「施設内に職員が感染症（感染源）を持ち込まない」を目標に行いました。
- 食中毒予防月間の5月から10月までのお願いとし、ご家族宛に、差し入れ等の注意事項を記入した書類を送付しました。
- 11月にはノロウイルス、インフルエンザについて、施設内研修を実施し、吐物の処理方法の実践等を行いました。
- 令和2年度の感染症は、特別養護老人ホームで疥癬に感染された方が出ましたが、受診、隔離、予防投薬にて終息しました。  
インフルエンザ、ノロウイルス発症者は居ませんでした。
- 褥瘡については、褥瘡の状態について情報共有し、処置・除圧の徹底を行いました。

- リスクマネジメント委員会

施設としてより良いサービスを提供するために、事故やヒヤリハットについての検討だけでなく、身体拘束、苦情等についても会議を開き予防策や改善策について検討を行いました。事故、ヒヤリハットについては、発生場所、発生時間等の統計を取りまとめ、統計結果を事務職員も把握したうえで、少しでも事故を未然に防ぐことができるように努めました。

## 【医 療】

施設の中で過ごす利用者にとって、日々充実した生活を送るためには、何よりも健康であることが第一です。そのために毎日職員間で行う情報交換をもとに疾病の早期発見、早期治療に心がけており、熱発時や緊急時は嘱託医に連絡し早期受診を行っています。また嘱託医以外にも定期受診として紀南病院の眼科、脳外科、神経内科、リウマチ外科等に通院をしています。

その他、年1回の利用者健康診断（身体障害者支援施設の利用者については、年2回）を行い、また血液に異常のある利用者は、嘱託医の指示により定期的に血液検査を行っています。

職員には年1回の健康診断（夜勤を行う職員は年2回）を実施して、再検査が必要な職員は検診センター医師、産業医の指導のもと受診を行い健康管理に努めました。

インフルエンザについては、利用者（本入所）、職員ともに予防接種を受け、発症者は居ませんでした。

## 【安全対策】

近年、地震に対する防災対策だけでなく、台風や大雨に伴う風水害・土砂災害で被災する福祉施設が増加し、風水害・土砂災害に対する防災対策が非常に重要となっています。

当施設として、前年度の避難訓練の課題等を踏まえた上で、令和2年7月には夜間想定、令和3年3月には昼間想定消防総合訓練を実施し、初期消火、避難誘導訓練を行い、消火器及び消火栓の操作方法についても再確認しました。また、新規採用職員には複合受信機の操作方法についても確認していただきました。

訓練を通して、多数の高齢者及び身体障害者の方が生活している中で、災害時の危険性を予見し、未然に防止するため、出火防止対策や土砂災害時の対策等の徹底並びに夜間における防災管理体制の強化に努めました。

## 【職員研修】

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策により、例年開催される研修が中止となる中、提供サービス向上のため、虐待防止や、ノロウイルス対応等の施設内研修に加え、新型コロナウイルス感染防止対策により増加したWEB研修を活用し、新しい知識や技術を積極的に取り入れて、専門的知識及び技術の向上に努め、職員の資質向上を図りました。

### 令和2年度 職員研修実施一覧表

特別養護老人ホーム ケアホーム熊南

	研 修 名	研修先	研 修 日	参加職員
6月	新型コロナウイルス感染症対応研修	御浜町	23日	1名
	熊野市社会福祉法人連絡会	熊野市	29日	1名
7月	老施協紀州ブロック施設長会議	御浜町	14日	2名
8月	身体拘束廃止研修	施設内	28日	27名
9月	新退職手当金制度説明会	尾鷲市	16日	1名
	熊野市社会福祉法人連絡会	熊野市	11日	1名
10月	人権問題及び権利擁護研修会	Web（県老施協）	9日	1名
	ノロウイルス対応研修	施設内	30日	32名
11月	新型コロナウイルス感染症対策研修	Web（県老施協）	4日	1名
	21世紀委員会ホメ達研修	Web（県老施協）	11日	3名
	介護現場におけるリカマ社 <sup>®</sup> 以外研修	Web（県老施協）	24日	1名
12月	熊野市社会福祉法人連絡会	熊野市	4日	1名

1月	新型コロナウイルス感染症対策セミナー	Web（県老協）	14日	2名
	給食施設従事者研修	熊野市	25日	1名
1月	楽ワザ介護術【移乗・移動介助】	Web（県老協）	29日	1名
2月	新型コロナウイルスワクチン接種説明会	Web（三重県庁）	12日	3名
	新型コロナウイルス感染症対策説明会	Web（県看護協会）	19日	1名
	経営戦略セミナー（報酬改定）	Web（県老協）	24日	4名
	経営戦略セミナー（報酬改定）	Web（県老協）	26日	1名
3月	食品衛生法事業者説明会	熊野市	11日	1名
	経営戦略セミナー	Web（全国老協）	17日	1名
	バルーン管理の基本研修	Web（紀南医師会）	18日	1名
	介護保険報酬改定ウェビナー	Web（応研）	19日	1名
	身体拘束廃止研修	施設内	30日	21名

身体障害者支援施設 ケアホーム熊南

	研 修 名	研 修 先	研 修 日	参加職員
6月	福祉サービス制度・虐待防止研修	施設内	16日	6名
	福祉サービス制度・虐待防止研修	施設内	19日	4名
	福祉サービス制度・虐待防止研修	施設内	22日	4名
10月	社会保険事務セミナー	熊野市	22日	1名
	ノロウイルス対応研修	施設内	30日	12名
12月	紀南地域自立支援協議会	Web（紀南地自支協）	18日	1名
1月	身体障がい・知的障がい者支援部会	Web（紀南地自支協）	29日	1名
2月	新型コロナウイルスワクチン接種説明会	Web（三重県庁）	12日	1名
	新型コロナウイルスワクチン接種説明会	熊野市	18日	1名
	障害者虐待防止・権利擁護研修	Web（県社会）	19日	1名
3月	バルーン管理の基本研修	御浜町	18日	1名
	障害福祉サービス等報酬改定説明会	Web（全国身障協）	22日	1名
	障害者支援施設等感染症対策力向上研修	Web（厚労省）	23日	1名

## 【施設訪問】

新型コロナウイルス感染症対策により見送り  
入鹿保育所より「いつまでもげんきでいてね」とのメッセージが書かれた手作りポスターを届けていただきました。

## 【施設体験学習受入】

新型コロナウイルス感染症対策により見送り

## 【ボランティア】

新型コロナウイルス感染症対策により見送り

## 【職員異動】

- ・特別養護老人ホーム

### ☆法人内異動

	男性	女性	合計
転入	0	3	3
転出	0	1	1
合計	0	4	4

### ☆採用

	男性	女性	合計
新卒採用	0	0	0
中途採用	2	1 (非常勤 1 名含む)	3 (非常勤 1 名含む)
合計	2	1 (非常勤 1 名含む)	3 (非常勤 1 名含む)

### ☆退職

	男性	女性	合計
定年退職	0	2	2
結婚・出産による退職	0	0	0
一般退職	0	4	4
合計	0	6	6

### ☆職種別採用・退職

職種	採用	職種	退職
業務課長	0	業務課長	1
介護職員	1	介護職員	1 (非常勤 1 名含む)
看護職員	1	看護職員	2 (非常勤 1 名含む)
調理員	1 (非常勤 1 名含む)	調理員	2
合計	3 (非常勤 1 名含む)	合計	6 (非常勤 2 名含む)

・身体障害者支援施設

☆法人内異動

	男性	女性	合計
転入	0	1	1
転出	0	3	3
合計	0	4	4

☆採用

	男性	女性	合計
新卒採用	0	0	0
中途採用	0	3 (非常勤1名含む)	3 (非常勤1名含む)
合計	0	3 (非常勤1名含む)	3 (非常勤1名含む)

☆退職

	男性	女性	合計
定年退職	0	1	1
結婚・出産による退職	0	0	0
一般退職	0	2 (非常勤1名含む)	2 (非常勤1名含む)
合計	0	3 (非常勤1名含む)	3 (非常勤1名含む)

☆職種別採用・退職

職種	採用	職種	退職
介護職員	1 (非常勤1名含む)	介護職員	2 (非常勤1名含む)
看護職員	1	看護職員	0
事務員	1	事務員	1
合計	3 (非常勤1名含む)	合計	3 (非常勤1名含む)

## 【職員構成】

### ・特別養護老人ホーム

令和3年3月31日現在

	特別養護老人ホーム 人員配置基準	特別養護老人ホーム ケアホーム熊南
施設長（事務長兼務）	1	1
事務員		1
生活相談員	1	※1
介護支援専門員	1	※1
機能訓練指導員	1	1
看護職員	3	3
看護職員（非常勤）		3
介護職員	21	21
介護職員（非常勤）		7
栄養士	1	1
調理員（非常勤）		2
医師	1	1（非常勤）
産業医		1（非常勤）
合 計	30	43

※は、兼務

備考）人員配置基準で介護職員及び看護職員の総数は、入所者：介護職員・看護職員＝3：1以上配置するという基準があり、特別養護老人ホームケアホーム熊南に、この数字を置き換えますと、70：24以上必要となりますが、令和3年3月31日現在では、70：32となっており配置基準値は満たしております。

・身体障害者支援施設

令和3年3月31日現在

	障害者支援施設 人員配置基準	身体障害者支援施設 ケアホーム熊南
施設長	1	1
事務員		2
サービス管理責任者	1	1
相談支援員		※1
看護職員	1	1
生活支援員	7	8
生活支援員（非常勤）		2
栄養士	1	※1
調理員		1
調理員（非常勤）		3
介助員（非常勤）		3
運転手（非常勤）		1
理学療法士	1	1（非常勤）
医師	1	1（非常勤）
産業医		1（非常勤）
合 計	12	27

※は、兼務

備考）人員配置基準で、看護職員、理学療法士又は作業療法士及び生活支援員の常勤換算での総数は、定員数を平均区分が4未満では利用者数を6で除した数、平均区分が4以上5未満では利用者数を5で除した数、平均区分が5以上では利用者数を3で除した数が基準となっており、身体障害者支援施設ケアホーム熊南では、令和3年3月31日現在、平均区分が5.45であるため、定員22名を3で除した数、7.4人以上必要となりますが、総数で10.9人配置しておりますので基準値は満たしております。